

2004年度

環境レポート

2004

大津地区実績

2005年5月

生活協同組合コープしが

このレポートはコープしが「環境レポート2004」の作成資料から大津市にある事業所の実績をまとめたものです。

コープしが環境レポート2004はコープしがホームページ
<http://www.pak2.com/coopshiga/whats/kankyo2004.pdf>
に掲載しております。

2004年度環境報告書 目次

1．事業所概要

2．環境管理活動の目的目標及び実績（大津地区）

3．事業活動に伴う環境負荷（二酸化炭素排出量）

1. 2004年度事業所概要

事業所 本部・生協会館 大津市竜が丘 1 - 1

店 舗

コープぜぜ 大津市竜が丘 1 - 1
ミニコープローズタウン 滋賀郡志賀町小野朝日 1 - 1 5 - 1
ミニコープ日吉台 大津市日吉台 2 - 1 0 - 9
ミニコープ西大津 大津市柳川 2 - 1 1 - 2 5
ミニコープ富士見台 大津市富士見台 1 0 - 1 3
ミニコープ瀬田 大津市一里山 2 - 1 - 2 3

共同購入センター

南大津センター 大津市神領 2 - 3 2 - 1
北大津センター 大津市雄琴 4 - 5 - 1 0
中央大津センター 大津市国分 2 - 2 2 6 - 2

保有車両数

ディーゼル車両	4 台
ガソリン 車両	4 1 台
LPガス 車両	3 台
ガソリン 車両	7 台 (軽・普通乗用車)
合 計	5 2 台

2.環境管理活動の目的目標および実績(大津地区)

1) 廃棄物削減

下半期より全ての店舗・共同購入センターで事業系一般廃棄物から生ゴミを分別し、プラスチックと紙を合わせて、事業活動から出るほとんどの廃棄物のリサイクルが可能になりました。その結果、事業所から非出される一般廃棄物量は職員の生活ごみを含めて34.2トンと大きく削減できました。コープぜぜやミニコープでは廃棄商品を中身と包材に分別し、中身は飼料に、綺麗な包材は発電燃料に、汚れた包材のみ廃棄するなど取り組んでいます。

2) 電気使用量の削減

2004年は猛暑となり、主に店舗の夏の電気使用量が増加しました。大津地区での電気使用量は273万kwhとなり計画の266万kwhを超過し、目標を達成出来ませんでした。

3) 省資源

事務用紙使用量は、事業所の自主目標として定め、昨年に引き続き管理することとしました。大津地区の事業所では、計画の約91%となり使用量を削減できました。

また、多量な使用量となっている共同購入案内書などの組合員配布物への対応は、共同購入案内書を回収し、また、案内書に使用するリサイクルに取り組みました。回収の結果は、コープしが全体で1,405トン、回収率は60%となりました。

4) 車両排気ガス

店舗等の駐車場に看板を設置し、アイドリングストップを呼びかけました。また、車両の保有台数は大津地区合計で58台となりました。

LPGトラックは給油所が少なく増車できませんでした。ディーゼル車はこれまで黒煙などの問題で敬遠してきましたが、最近では低公害化も進み二酸化炭素の排出量からはガソリンに比べ遙かに低くなっています。今後は、ディーゼルの環境対策車の導入も進めます。

5) リサイクル活動

共同購入センターでも牛乳パックや共同購入案内書のリサイクルに取り組んでいます。事業所別実績を把握していませんので大津市内(ローズタウンを含む)の店舗で回収した実績を報告します。牛乳パックは前年比117.0%、ペットボトルは128.7%、びんは132.0%、トレーは113.9%となり、回収量は昨年より大幅に伸びました。

特にペットボトル・びんの回収量は2002年度から1.6倍になっています。

3.事業活動に伴う環境負荷（二酸化炭素排出量）

生協の事業では二酸化炭素の排出量を見る限り、配送車両 電気 廃棄物が環境への影響を与える三大要因であり、以下の通りとなっています。

1) 車両より排出される二酸化炭素の排出量

大津地区に配属された車両から排出される二酸化炭素は約221tとなりました。

1km走行するのに排出量が少ないのはLPG車両が0.084kg、次いでディーゼル車両0.327kg、一番多いのがガソリン車両0.377kgとなりました。

2) 電気・ガス・水道による二酸化炭素の排出量

電気・ガス・水道による二酸化炭素の排出量は333.4tとなりました。使用エネルギーの中でも最も多い電気の使用による二酸化炭素の排出量は、約328.1tで全体の98.4%を占めています。

3) 廃棄物による二酸化炭素の排出量

廃棄物による二酸化炭素の排出量は約34.2tとなり、前年比57.4%削減しました。昨年より生ゴミの再資源化を全店舗で実施したことによる焼却ごみの削減が大きく貢献しました。